

◆【全国発信記事】道東支部

—道東観光開発株式会社—

流水シーズン到来「おーろら」「おーろら2」

網走流水観光砕氷船から眺める白銀の絶景

春が待ち遠しい北海道の東岸では、この時期だけに見ることができる「流水」が到来、流水観光を目的にした乗客の期待に応えるため、現場組合員が一丸となって運航に当たっている。

2005年に世界遺産（自然遺産）として登録された知床半島（知床国立公園）が目の前に広がる網走は流水で有名。流水は毎年、真冬の季節に極寒のオホーツク海北部で誕生し、風と潮の流れで南下するにつれてぶつかり合い大きく成長し網走に流れ着く。

「網走」の地名の由来は「ア・パ・シリ」（我らが見つけた土地）とか「アパ・シリ」（入り口の地）など諸説あり「アパシリ」というアイヌ語を漢字にあてたものとされている。市内には五つの湖と天都山と呼ばれる小高い山があり、起伏と変化に富んだ景観を形成し、自然の豊富さも魅力で網走国定公園に指定された。濤沸湖は2005年11月、ラムサール条約の登録湿地になった。

道東観光開発は2隻の流水観光砕氷船「おーろら」「おーろら2」を所有し、冬季観光の目玉・流水砕氷クルーズを運航、本格的な流水クルーズは1月中旬以降から実施している。「おーろら」は観光を目的とした船であるが、世界初の流水観光砕氷船で、船の重さで砕氷する南極観測船「しらせ」のミニチュア版といわれている。

「おーろら」が着岸する旅客船ターミナルは道の駅「流水街道網走」に併設され、女優の吉永小百合さんが主演した「北の桜守」網走撮影セットも展示されている。

新型コロナウイルス感染症対策を万全にして、乗客の安全と安心を確保

「おーろら」の中村忠義船長は「コロナ禍で緊急事態宣言が発出され予約状況は非常に厳しい状況ではありますが、船員と陸上組合員は健康管理を徹底し、連携してお客様が安全で安心して流水砕氷クルーズを楽しんでいただけるよう新型コロナウイルス感染症対策を講じ、万全の態勢を整えてお待ちしております。ぜひ網走まで足をのばし、オホーツク海を埋め尽くす流水の海を眺めてほしいと思います。砕氷船で突き進む気分は、まさに南極観測隊です。大自然と砕氷船が醸し出す流水鳴き、海の七変化・太陽の光で幻想的に変化する流水・雪・風・極寒を五感で受けとめ、人生の1ページに貴重な思い出が残る体験をしてほしい」と語ってくれた。

「海員だより」